

手戻りなき最速の開発サイクルへ：AIが導く「脱レアアース」戦略の最適ルート

従来の開発ルート



「手戻り」の火種は最上流
(構想・初期調査)にある
浅い初期研究が躓り原因、
特許優越との問題などもある

脱レアアース
ゴール

「登る前」にリスクが見えるから、最速で駆け抜けられる

特許のバリアや技術的な行き止まりを可視化することで、迷いのない開発サイクルを実現

ルートA: 完全ゼロ化案 (リスク高)
AI調査により、大手企業の既存特許が障壁...
回避設計やライセンス交渉が必要な「険しい道」

ルートB: 重希土類削減業 (ホワイトスペース)
新規性を否定する文献が0件。
まだ煙が聞いている「勝てるルート」

PatSnap AI 活用ルート

AIを提案で総合的な視察

攻め(探索)
Eureka R&D

守り(知財)
Eureka IP

まだ見ぬ
選損鏡を広げる

選んだルートの
障害物を除く

技術情報のカバー率



2億件以上の一次情報(ファクト)に基づく回答
✓ ハルシネーション(もっともらしい嘘)のリスクが極めて低いです

AIエージェント「Eureka」による自動調査
AIは検索、ノベルティ、発考性の発明性調査分析で
分分で結果できる